

令和8年度 西小学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：27011

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇校内の研究を通して、教職員のアンケートや札幌市の共通指標から、「振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがある」の肯定的な回答の高まりから、学びに対する手応えを感じている児童が増加しているという実態がある。</p> <p>◇本校の全国学力状況調査の結果から、国語も算数も全国平均と同程度、または上回っていることが分かり、日常の実践や本校の研究が一助となっていると想定される。</p>
	<p>◇札幌市の共通指標から、「自分で計画を立てて勉強している」の肯定的な回答の児童の割合が、他の指標に比べて低い傾向にある。</p> <p>◇札幌市の共通指標から、「自分の意見を進んで発言している。」「意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている。」の割合が低い傾向にあり、学習活動等で自信をもって思いを伝えることができていないと考える児童も一定数いると考える。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇札幌市の共通指標の「人の役に立ててうれしいと感じることがある」や「人の役に立つ人間になりたいと思う」の自己有用感に関する項目において、肯定的な回答が高い傾向にある。学年やブロック間の行事等での関わりや年間を通したあいさつ運動、学級や学年全体で行う学習活動の取組が、寄与していると考え。一方、「自分が必要とされていると感じる」の自己肯定感に関する項目の肯定的な数値は他に比べて低い傾向にあり、子どもが承認される機会や場の設定が、より一層必要であると考え。</p>

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自ら課題を見付け、自ら学び進める子

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 研究副主題「子ども一人一人が『問い』をもち、課題解決に手応えを感じる授業」の実現</p> <p>→子どもが主体的に学習を進めることに焦点を当てた授業構築</p> <p>→子どもが動き出すためのイントロダクションや、次の学習へつなげるためのリフレクションを大切に、問いを連続させていく授業研究</p> <p>→子どもが自己決定する場を設定することで、深い学びへの手応えを感じる授業研究</p> <p>(2) 生活科や総合的な学習の時間を中心に、目的やテーマを立て、見通したり探究したりする学習の充実</p>	<p>① 日常の当番や係の活動を通して、進んで活動し、その楽しさに浸ったり、よい行いを真似たりする機会の充実</p> <p>② 学級会活動やグループ活動を通して、「自己決定」をする場、「失敗から学ぶ」場の充実を図り、他者理解を大切にできる機会の増加</p> <p>③ 委員会活動やクラブ活動、学年での活動を通して、全校的視野から動き出したり、協働的に活動するよさや達成感を実感したりする経験の場の設定</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について		
<p>◇課題探究的な学習や自主的な活動の中で、複数のツールの中から子どもが自ら選択できるような環境を整備するとともに、適切な選択ができるよう、発達段階に応じてアウトプットの方法を積み上げていく。</p> <p>◇教職員向けに実践的な ICT 活用研修を行うことで、効果的に ICT を活用した教育活動を進めていく。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

<p>新年度</p> <p>◇本プログラム共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 ・研究全体会(5月7日) ・学校説明会(5月13、15日) 	<p>【一人一人の教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇日々の授業・教育活動 ◇各自の研修…札教研、年次研修等 ・全員授業公開 	<p>【学校全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇校内研究／校内研修 ◇子どもの育ちを共有 ・学年研修、学年経営交流会 	<p>次年度へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学校評価 ◇成果と課題を共有 ・研究全体会(2月15日)
--	---	--	--

